

令和3年度事業報告書概要（若洲海浜公園）

指定管理者：若洲シーサイドパークグループ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

【ゴルフリンクス】

・清掃・消毒の徹底

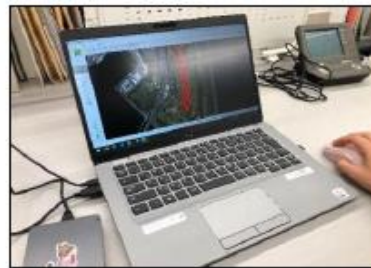
年間事業計画で定めた清掃回数に加え、感染症対策のために独自で定めたガイドラインをもとに、アルコール等による消毒作業を追加で実施しました。

・グリーン改修工事

地盤沈下やガスの発生等によるグリーンの品質低下を改善するために、営業を継続しながらグリーン改修工事を実施しました。高いクオリティの仮設グリーンを運用するために、予約時の広報から当日の案内まで丁寧に説明することで、利用者にプレーの不自由さやコースクオリティの低下を感じさせることなく、高い利用者満足度を維持しました。

・先進機械の導入

今後の効率的かつ効果的な芝草の維持管理に向け、管理用ドローンを試験的に導入し、上空から特殊なカメラで撮影し、温度変化等の芝生植生分布状況や活性度等の科学的データを取得しました。



<管理用ドローン>

・直前キャンセルへの対応

令和2年度からWEB予約を開始し、24時間手軽に予約が取れることで利便性が向上した一方で、同伴者や日程の調整を行わずに予約してしまう「とりあえず予約」による直前キャンセルが増加しました。他の利用者に支障がないよう、システムによる制御や注意周知等を徹底し、キャンセル頻度の多い利用者の適正利用を促しました。

【海釣り施設・関連園地】

・利用者マナーの啓発と釣り場ルールの注意喚起

感染リスクが低く手軽に楽しめる釣りへの注目度が高まり、利用者の増加が予測されたため、巡回頻度の増加やSNS等を活用した情報発信を行い、公園の適正利用を維持しました。



<巡回時の声掛けとSNSによる情報発信>

○ 安全性の確保

【ゴルフリンクス】

・新型コロナウイルス感染症対策

厚生労働省及び東京都新型コロナウイルス感染症対策、一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会「新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」に基づき、消毒や換気、飛沫を防止するためのパーテーションを設置するだけでなく、予約から精算まで若洲独自のガイドラインを保険医の監修のもと策定し、利用者及びスタッフの安全を確保しました。

・雷雲発生時の対応

気象予報士の監修のもと、雷雲の大きさや接近時間の予測、それらに応じた避難等をまとめたマニュアルを作成し、有事に備えました。

また、独自に最新の落雷情報システムに更新して、リアルタイムに高精度な落雷情報を入手し、利用制限や避難用車両の準備等安全措置の判断に活かし、雷雲発生時の迅速な対応につなげました。落雷情報システムの予測情報は、ゴルフ場だけでなく、海釣り施設や隣接する区立若洲公園及びヨット訓練所にも共有し、若洲地区の安全確保に寄与しました。



<雷雲発生時の対応>

2 事業効果

○ 事業の取組

【ゴルフリンクス】

・一般開放デー

若洲ゴルフリンクスホームページ内に特設ページを作成し、Webにて「一般開放デー」を開催しました。過去の参加者からの感想で多くあった「ゴルフコースの中が見られて貴重な体験になった」という声を参考に、過去の開催の様子を紹介するとともに、グリーン改修工事の様子やコースの日常管理風景を写真や動画で紹介しました。



<WEB開催した一般開放デー>

・プレースタイル及び利用者層の多様化への対応

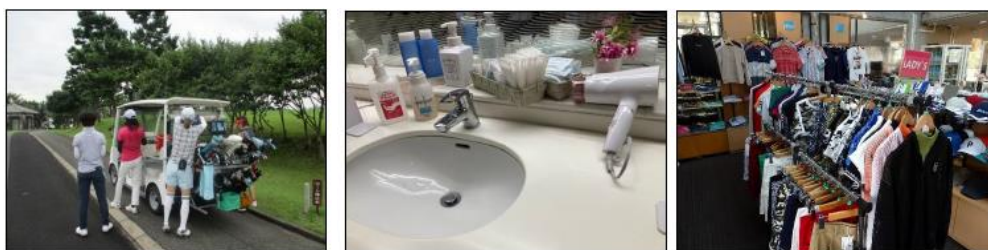
プレースタイルや利用者層の市場動向、利用者ニーズを常に把握・分析し、柔軟に運営へ反映して、多くの方に来場いただくとともに非常に高い満足度を維持しました。

滞在時間を短縮できるスループレーを全日実施するとともに、女性に人気があり手軽にプレーができるセルフプレー枠を、セルフデーだけでなく通常営業日にも設定し、加えて直前キャンセル等により発生したキャディ付きプレーの空き枠を、セルフプレーに変更し、より多くの利用ニーズに応えました。

また、アンケート等で薄暮プレーの拡大を望む声が多かったため、3月より平日だけでなく土日祝日にも設定し、多くの方に利用をいただくことができました。

・女性ゴルファーの利用促進

利用実績及び利用者層の市場動向、利用者ニーズをもとに、女性ゴルファーの利用がさらに拡大している状況において、レディースデーの実施やアメニティの充実等を行い、女性ゴルファーの利用促進を積極的に行いました。これらの取組により、女性利用者数は前年度の1.8倍、10,873人の方が来場され、新たな愛好者を獲得することができました。



<女性ゴルファー利用促進の取組>

【海釣り施設・関連園地】

・釣り教室

新規利用者増や釣りの普及・啓発を目的として釣り教室を開催しました。令和3年度は、緊急事態宣言等で9月までに予定していた教室等が中止となりました。10月以降に公園の利用規制が緩和した際には、感染防止を徹底しながら、ターゲットを絞り小規模・小人数で、利用者ニーズの多い教室を開催しました。

・釣り大会

コロナ禍でも、海釣り施設で釣りを楽しめる、釣果（魚の長さ・重さ）を競う参加形式のイベントを開催しました。本イベントは、江東区立若洲公園の売店事業者と協働して、コロナ禍でも三密を避けられ、海釣り施設の新たな楽しみ方や魅力、どんな魚が若洲海浜公園で釣れるかなどを発信することができました。釣果状況は、売店の掲示板だけでなく、Twitterで毎日発信し、大変反響のあるイベントとなりました。



<釣り教室・釣り大会>

○ 利用の状況

公園全体としては、前年度から利用者数が増加しました。新型コロナウイルス感染症対策等のため、ゴルフリンクスでは1回（15日間）休場し、海釣り施設・関連園地では、海釣り施設（堤防）が165日間閉鎖されましたが、いずれも前年度を大幅に上回る多くの方にご利用いただきました。

○ 行政目的の達成

・東京2020大会への協力

コロナ禍による1年延期や無観客開催などの状況の中で、大会前の準備段階から大会期間中の運営、大会終了後の原状復旧まで、都や組織委員会と密に連携し、大会運営に協力しました。

・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うゴルフリンクスの休場

ゴルフ場予約者については、ホームページ閲覧環境がない方も想定し、クローズ期間中の全予約代表者に電話で連絡を行いました。複数日・複数回の架電でも連絡の取れない利用者には、個別にメールで情報発信をしました。結果、全ての予約者に情報を伝えることができ、利用者の不要な外出を防ぎ、安全を確保することが出来ました。

3 収支状況（単位：千円）		
項目		金額（税込）
収入計		706,030
内訳	指定管理料	0
	利用料金	706,030
支出計		491,994
納付金		203,332
収支差		10,704

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。